

NTT東日本におけるR&Dの取り組み

東日本電信電話株式会社 ITイノベーション部 部長 鹿野 宏喜氏

背景

NTT東日本では、光ブロードバンドサービスの「フレッツ光」やフレッツ光を使った電話サービスである「ひかり電話」を提供している。「フレッツ光」は、2001年に「Bフレッツ」をリリースして以降、2004年には「ひかり電話」、2008年にはNGNを活用した「フレッツ光ネクスト」の提供を開始するとともに、順次提供エリアの拡大も行ってきた。その後も映像サービスの「フレッツ・テレビ」、二段階定額制の「フレッツ光ライト」等、サービスの高速化・低廉化やラインナップの拡充、各企業様とのアライアンス等にも積極的に取り組むことで光の利用

シーンの拡大に努め、2013年10月には1,000万契約を突破した。

さらに、2014年5月13日にはNTT東日本の構築した世界最高水準の光アクセスインフラを「サービス卸」する「光コラボレーションモデル」を発表した。「光コラボレーションモデル」により多様なプレイヤーさまの新たな価値創造を支援することで、ICT市場の活性化と日本の産業競争力強化に貢献していくことをめざしている。

NTT東日本におけるR&Dの取り組み

NTT東日本では、NTT研究所が基盤的研究開発を行っていることに對し、その研究開発成果や市中技術・製品を活用した応用的研究開発を行

っており、新たなサービスや技術の迅速な事業への導入をめざすと同時に、サービスを安心、安全にお使いいただけるよう、総合的な品質の確保、信頼性の向上に努めている。

新サービスやネットワーク強化のための研究開発は、世の中の最新技術動向を的確に捉え、事業を取り巻く環境の変化に対応しながら、タイムリーに進めていく必要がある。急激な市場環境変化や顧客ニーズへ迅速に対応するため、NTT東日本では「高度化推進部」「技術協力センタ」「ビジネス開発本部」の3組織が研究開発を実施する体制としている。ITイノベーション部はこれらの研究開発組織と連携し、事業戦略に沿ったR&D戦略を立案、推進するとともに、重点分野へのリソースのシフト、NTT研究所からの成果の事業導入推進等のR&Dマネジメントを行っている。

NTT東日本では、全社トータルでのR&Dを推進し、ブロードバンド環境の充実と、光サービスの利用層拡大に努め、安心・安全で豊かな社会の発展に貢献していく。

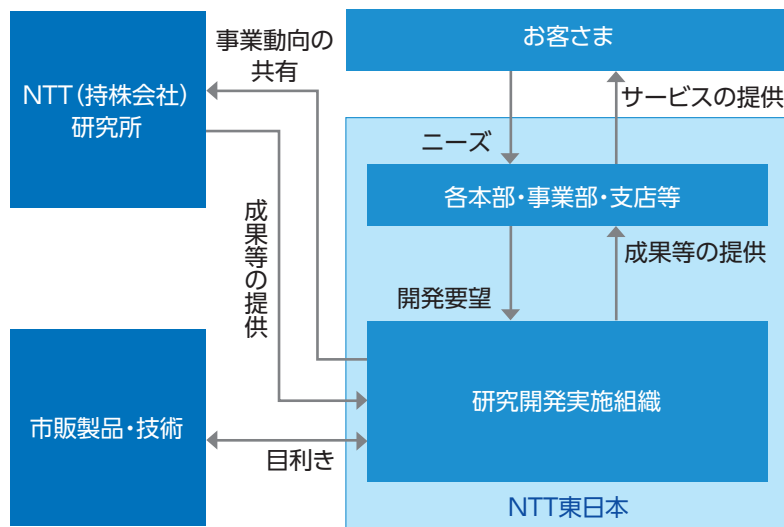


図1 NTT東日本研究開発組織の位置付け

お問い合わせ先

東日本電信電話株式会社
ITイノベーション部 技術部門
技術戦略担当
TEL : 03-5359-2784